

2024年度 特に優れた業績による返還免除の申請について

- 申請資格 (1) 大学院第一種奨学生で、2024年度に貸与が終了する者（2025年3月貸与満期終了者のほか、2024年度退学・辞退等を含む）。
- (2) 貸与終了時の「在学している課程で特に優れた業績を挙げた者」（課程修了を必須要件としません。）
- (注) 2023年度以降に第一種奨学金に採用された者で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する以下の事業の支援を受けている場合は、「特に優れた業績による奨学金返還免除制度」における返還免除の対象外です。
- ・科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業
 - ・次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）
 - ・国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）
 - ・次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）
- (注) 返還免除内定者も申請が必要となりますので、必ず申請してください。

- 受付期間 2025年2月3日（月）～2月13日（木）15時まで（土日祝日除く）
8時30分～11時30分 13時30分～17時（最終日は15時まで）
- ※【期限厳守】期限後の提出は一切認めません。
- ※ 再提出も含めて、受付期間は2月13日（木）15時までです。余裕を持って提出してください。
- ※ 郵送申請者は2月13日（木）必着にて提出してください。郵送で申請の場合は、不備がないことをよく確認うえ提出してください。不備がある場合は受付できない場合もございます。
- 郵送の場合は、記録が残る方法（簡易書留等）でご提出ください。
- ※ 2月10日（月）はAO入試で窓口閉鎖のため受付はできません。
- ※ 窓口申請においても、不備がある場合は受付できない場合もございます。例年不備で再提出になる方が多く、一度で受付完了にならない可能性が高いため、余裕を持ってご提出ください。
- 提出場所 工学部・工学研究科教務課学生支援係（工学部中央棟教務課3階 ②窓口）
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04
(電話：022-795-5822 E-mail:eng-kose@grp.tohoku.ac.jp)

- 提出書類 (1) 業績優秀者返還免除申請書（様式1）両面印刷
- (2) 業績を証明する資料・・資料の種類ごとに両面印刷（A4）し、それぞれ指定の表紙を付けて1部提出
※後日一部の「業績を証明する資料」をPDFで提出してもらうため、必ず本人控え（コピー）を1部取っておくこと！
- (3) 業績を証明する資料リスト・・資料1種類につき1行ずつ、資料のタイトルを記入して片面印刷で1部提出。
- (4) チェック済みの「提出書類チェック表」
- (5) 認定結果通知用封筒・・長形3号の封筒に、2025年4月以降確実に送付できる住所及び氏名を記入（切手不要）。

★受付完了後、Google フォームにて、(1)～(3)のデータを提出して頂く予定です（ただし(2)に関しては一部）。

○博士後期学生（DC）申請者：研究に関するプレゼンテーションを行っていただく予定です（3月頃、オンライン）。
詳細は、別途申請者にご連絡いたします。

【注意事項】

1. 不備や記入漏れの申請書類は一切受理しませんので、注意してください。提出様式は基本的にパソコン入力で作成してください。一部手書きで記載する場合は、全て黒のボールペンで記載すること。消せるボールペンでの記載は一切認められません。
2. 返還免除申請書が受理されるためには、奨学金返還誓約書が提出済みであることが必要です。（返還誓約書については、2010年度以降採用者は既に提出済です。）
また、リレー口座の加入手続きが済んでいない者は返還免除申請期限までに必ず提出してください。（3月末辞退者・退学者等まだ加入手続き案内がきていない者は除く。）

3. 日本学術振興会特別研究員採用、短縮修了その他の理由による奨学金辞退予定者は、2025年2月13日（木）までに辞退の異動願を提出してください。（異動願様式は工学研究科 HP に掲載および学生支援係にて配布）
4. 「申請書様式」、「業績を証明する資料表紙」及び「業績を証明する資料リスト」の様式は、工学研究科HPに掲載しております。
5. 申請書（様式1）は必ず両面印刷して作成してください。

申請書（様式1）の業績の種類欄で、業績が多くて入りきれない場合は、必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いませんので、文字は小さくしないでください（読みにくくなるため）。

申請書（様式1）で、評価の対象となる業績の種類については、別紙「業績項目一覧」を参照してください。「6. 授業科目の成績」の添付書類にあたる「成績証明書」については、教務課学生支援係で準備しますので、提出する必要はありません。
6. 業績を証明する資料は全てA4版に統一し、資料の種類ごとに資料番号、奨学生番号、学籍番号、氏名、専攻名及び添付資料表題名を記入した所定様式の表紙を付けて **1部**提出してください。また、「業績を証明する資料リスト」は、資料の種類ごとにタイトルをそれぞれ記入し、1部片面印刷で提出してください。（別紙の「業績を証明する資料作成のイメージ」「業績を証明する資料リストの作成例」を参照）。
7. 「業績を証明する資料」とは、学位論文・掲載雑誌の写し（該当箇所のみで可）・著書（単著または共著を明記）・学会のプログラム等の写し・研究または教育にかかる補助業務（TA・RA・チューター等）の委嘱状もしくは労働条件通知書等・賞状の写し等です。論文等は本人名・作成年月日・論文タイトルが分かる部分の写し等と「論文要旨」（A4判1枚程度：両面印刷可）等簡略したものとし、両面印刷で提出してください。

※例年、論文全ページを提出する学生がありますが、該当箇所のみ提出してください。

※例年、業績の年月日（特に年）が不明なものが多くあるため、表紙やプログラム等、日付を確認できる箇所を添付してください。

学会発表の場合は、学会プログラム等の写し（学会名・年月日・発表者氏名が確認できるもの）と発表題目及び論文要旨等発表内容のわかるものを提出してください。特にTA・RAの労働条件通知書等を紛失した場合は、早目に各専攻事務室を通じて発行依頼を行い、申請期限までに必ず証明書を提出できるようにしてください。

（詳細は、別紙の「業績資料の必要項目と注意事項」を参照してください。）
8. 「業績を証明する資料」の本人の氏名、題目部分、年月日、学会名等、何の業績であるか、また本人を確認できるように、該当箇所にマーカーで印をつけてください。
9. 「申請書」、「業績を証明する資料リスト」、「業績を証明する資料表紙の表題」と業績を証明する資料の題目部分や学会名等が一致するようにしてください。例年、一致していない学生がおり、不備で修正が必要となっております。
10. 専攻分野に関連しない「発表会」・「スポーツ競技会における成績」・「ボランティア活動」の業績は評価対象外です。評価の対象となるのは専攻分野に関連するものに限りますので、注意してください。
11. 評価の対象となるのは、当該課程に在籍し、かつ奨学金を貸与されていた期間中のもののみ（2年生から貸与された場合、1年生の業績は対象外）です。また、博士前期課程の学生は博士前期課程在籍時の業績、博士後期課程の学生は博士後期課程在籍時の業績です。評価対象外の業績は提出不可ですので、注意してください。
12. 博士課程（DC）の業績評価について、2019度以降採用者である場合、一部の者を除き「学位論文その他の研究論文の業績が必須となります。
13. 申請の際は、添付の「2024年度特に優れた業績による返還免除 よくある質問集」も合わせて確認してください。
14. 今後、返還免除に関して連絡がある場合は、学務情報システムに掲載しますので、最新情報に注意願います。
15. 返還免除決定者には、2025年7月上旬から下旬（予定）に日本学生支援機構から直接本人に通知されます。